TOKYO KENBUNROKU

東京見聞録

谷　鉄也（たに　てつや）

共同ピーアール代表取締役社長

1970年9月生まれ。愛知県出身。94年3月、青山学院大学卒業。2001年9月、新東通信入社。13年9月、代表取締役社長。15年3月、共同ピーアール社外取締役。同年8月、より現職。

名古屋の広告代理店・新東通信の社長から日本のPR（パブリックリレーション）業の草分け共同ピーアール（東京都中央区）の社長に転身して一年半の谷鉄也氏。国内だけでなく世界的企業や官公庁・教育関係などの広報・PR業務の代行・支援事業に取り組むが、IT、国際的な新分野へもアグレッシブに挑む日々。イノベーションにまい進する谷社長に話を聞いた。

戦後アメリカで生まれたPRは日本に広く浸透したとは言えないが、企業などが事業の公共的価値を社会や関係先に知ってもらい信頼関係を強めようとする活動のこと。

よく広告との違いを尋ねられるが、広告はメディアの枠を買って「私は素晴らしいです」と伝えることとすれば、PRはメディアの記事として「あの人は素晴らしいですよ」と言わせること。記事として取り上げられるためには情報リソースとしての価値が重要になってくる。

歴史的な仕事で言えば、「闇金」「サラ金」と言われていたものを「消費者金融」に言い換えたり、ワイシャツのカラー化を啓発するために、白いワイシャツの象徴である銀行員のカラーシャツ姿を広報して、カラーシャツ普及に一役買った世論づくりも共同ピーアールが関わったPR活動の一環です。

ミシュランの日本上陸の際もお手伝いさせていただき、以来一〇年お付き合いさせてもらって定着に導いた。

業界最古参の歴史と経験で数多くのプロジェクトに参加

わが社は五三年前に生まれたPR会社で業界最古参。基本は企業広報の領域で新聞・テレビ・雑誌などのメディア活用が多く、コンタクト力は強い。「メディアリレーションズ」という言葉はわが社の